



vol.11
平成27年1月発行

静岡県議会会派
“ふじのくに県議団”からの お知らせ
Activity Report

新年のごあいさつ

林 芳久 仁 会長

県民の皆様、新年明けましておめでとうございます。本年も、ふじのくに県議団(20名)は、結束して県政の発展のために全力で政策実現を目指してまいります。どうぞよろしくお願ひします。

昨年は、我が会派提出の観光振興条例が可決しました。また、近年、問題が多発しております危険ドラッグ対策として『危険ドラッグ排除条例』を知事に要請し、12月に可決、27年3月に施行されることとなりました。

そのほか、県内35市町に県からの権限移譲をしてから10年が経過したのを機に議会で初めて、我が会派が35市町へアンケート調査と聞き取り調査を行った結果、すべての市町から回



答を得ることができました。その結果を踏まえ、見直し、改善策をまとめ、市町が市民のために権限を十分生かしてもらうため、川勝知事に要請をいたしました。

本年も、ふじのくに県議団の20名は、県民一人ひとりのさらなる幸福向上を目指し、全力投球します。

代表質問



12月1日
田口 章
議員

質問項目抜粋

1. 市町への権限移譲のあり方と行政サービス提供体制について
2. 富士山静岡空港の経営改革について
3. 来年度からの教育行政の進め方について

一般質問



12月3日
櫻町 宏毅
議員

質問項目抜粋

1. 非正規雇用者の処遇改善策について
2. 生活困窮者の実態把握と食糧支援について
3. 将来を見据えた工業用水道事業の改革案について



12月4日
高田 泰久
議員

質問項目抜粋

1. 長泉沼津IC周辺地域における内陸のフロンティアを拓く取組みの推進について
2. 境川の浸水対策について
3. 教員と子どもが向き合う時間の拡充のための人的措置について



12月4日
山崎 真之輔
議員

質問項目抜粋

1. ビッグデータの活用について
2. 海外からの企業誘致について
3. 医療通訳の充実について



12月5日
岡本 護
議員

質問項目抜粋

1. 森林認証制度による認証材の活用について
2. 福祉・介護機器分野への参入に取り組む県内企業に対する支援について
3. 将来の水素エネルギーの利活用について

対談レポート

12月定例会を振り返って

川勝知事 田口 章 県議

知事 突然の総選挙となり12月議会が多忙のなかでの議論となりましたが、今議会もふじのくに県議団からは鋭い観点からのご質問・ご提言ありがとうございました。

また、12月18日にいただいた「市町への権限移譲のあり方に関する実態調査報告と今後の取り組みについての提言書」これは誠に素晴らしい内容です！

田口 ありがとうございます。権限移譲については、ただ権限をやみくもに渡せばよいというわけではなく市町の実情も鑑みて本来に必要な権限や人材・スキルを渡していくべき。逆に、やはり県で扱った方がよいというケースもあることを整理しました。

知事 本当に貴重なご指導をありがとうございました。早速、担当部局と整理をしていきたいと思ひます。

さて、12月議会の代表質問でいただいたご提言ですが、まず2020年の東京オリンピック開催中に全国で文化的なイベントプログラムを開催すべきと考えていましたので、ご提言にしたがって、本県が世界に誇る舞台芸術集団SPACに匹敵するプロの音楽集団をつくることを考えています。

近く、組織委員会を立ち上げる所存です。

田口 静岡県は音楽だけでなく、地域芸能や文化が豊かなところですので、オリンピックを生かして世界へ発信するチャンスととらえてさまざまな取り組みを考えていきたいですね。また同時に静岡県のブランド戦略と総合プロモーションについても提言させていただきました。

知事 まさにブランド化がとても大事です。静岡県は“ふじのくに”を統一ブランドとして富士山や伊豆半島ジオパーク、浜名湖観光園など“場の力”に磨きをかけていきます。

また「食の都」「花の都」「茶の都」などの“都づくり構想”についても、一体感をもったプロモーションをすすめる必要があると思ひます。まさにご提言のとおりです。

田口 次に産業成長戦略です。県の設置した「産業成長戦略会議」からは11月に方向性が示され、本県の屋台骨を支えてきたものづくり産業の活性化に取り組んでいくという決意は見えてとれましたが、課題として次世代産業の創出や企業誘致、規制緩和などの戦略的な計画が見えません。知事、このあたりはいかがでしょうか。

知事 地域経済全体を活性化させるためには、中堅企業が国内外への新たな販路開拓や新事業展開をサポートすることが重



要です。今後、成長分野に積極的に挑む中堅企業をサポートする新たな組織の具体化について検討していきます。また、現在の成長戦略は基本的に供給側で考えられていますが、豊かさを実感すべきは生活者・消費者側で考えないといけません。私としては「暮らし空間倍増計画」で家を大きくして家計消費を伸ばすという東京ではできない見地でも経済の活性化にチャレンジしていきたいと思ひます。

田口 最後に静岡空港の中長期の経営計画についてです。「PPPコンセッション方式」による、さらなる民間活力の導入がどうなるのか県民の関心も高いところですので、ふじのくに県議団としてもキチンと議論をつめていきたいと思ひます。

知事 効率的で利便性の高い空港運営を実現するために、空港の運営そのものを民間に委ねる「公共施設等運営権制度」を早ければ平成31年度には導入していきたいと考えています。そのために、さしあたり年間70万人の利用者の早期達成と更なる利用拡大にあらゆる手段を講じて中長期の経営戦略を早期に策定していきたいと思ひます。

田口 今、年間5億円の赤字があります。まずは課題やリスクをしっかりと洗い出していくことが大切と考えていますが、どうお考えでしょう。

知事 ご指摘のとおりです。利用動向分析や経営戦略などについて多角的にスピード感を持って作業を進めていきたいと思ひます。いやあ、ホントに厳しいご指摘ありがとうございました。

田口 知事と議会は互いに県民のためにさまざまな知恵を出し合い濃密な議論を重ねていくことがとても大切だと思ひます。今後もふじのくに県議団は未来志向で建設的に提言を次々としていける政策集団として努力をしていきますので、2015年も宜しくお願いします。

知事 そうですね。2015年はより希望に満ちた1年にできまよう私たちが先頭に立って頑張ってまいりましょう！

2015政策集できました!!

詳しくはウェブでご覧いただけます。

皆さまの県政についてのご意見・ご感想をお聞かせください。

静岡県議会 ふじのくに県議団

〒420-8601 静岡県静岡市葵区追手町9番6号
TEL 054-221-3510 FAX 054-221-3513

ホームページ <http://www.fujinokuni-kengidan.jp>
メールアドレス info@fujinokuni-kengidan.jp